

# ともしび

編集発行

第51号

富山県立八尾高等学校

教育情報部・図書委員会

富山市八尾町福島213

TEL 076-454-2205

令和4年2月28日

## 追究心

副校長 辻 寛

物心がついたときから星空を眺めることが好きだった私は、中学生になって真剣に宇宙の謎を調べたいと思うようになりました。次第に基礎知識が身に付いてくるようになると、夢はどんどん膨らみ、宇宙物理学を学びたいと思うようになっていきました。やがて、中学時代の友人と、「将来いっしょに宇宙物理学を学ぼう」と盛り上がったこともありました。その友人は宇宙物理学の道へ、自分は数学の道へと、お互い別々の進路を選択することになりました。

十代の頃の自分は、スポーツ以外にも自然現象に興味があり、様々なものを観察しました。そうこうしているうちに、「時間」の存在にも興味を持つようになり、いつの間にか理学系に進路選択の舵を切っていたと思います。この流れからすれば、物理学を選択することが自然だったのかもしれませんが、あるときふと、さまざまな物理現象を考

える上でその思考の基本となるものが数学だと気づき、数学を選択することになりました。「物理学」が汎用性の高い学問であることは周知の通り、でも汎用性が低いと言われている(?)「数学」に惹かれた理由は、物理現象をはじめ、さまざまな物事を考察するための土台ともいべき「原点」の魅力だったのだろうと思います。

よく、スポーツでも、“原点回帰”とか、“基本に忠実に”とか言われます。プロは、それに至るまでの年月の過程で人一倍継続して(仮に野球でいえば)素振りをし、基本で単純な内容を繰り返して、その延長でテクニックを磨くのですから、結果的に応用レベルを身につけることになるわけです。

視点を変えますが、宇宙の始まりは、簡単に言えば、一説として138.2億年前の時刻に、ビッグバンという爆発的膨張によって、「無→空間・時間の誕生」という説明がされています。いわゆる万有引力の法則などのある種の「法則」もビッグバンの前はなかったことになるのですから、想像できない世界が「原点」の前にあったということでしょうか? 私自身今も、この「空間・時間」のない世界を一度体験してみたい(そのために今からでもこの関連分野を追究したい)気持ちでいっぱいです。

「夢の追求、学問の追究」。この気持ちを持ち続けることはこれからもずっと大切にしていきたいと思っています。



# 「一般企業で働いて考えたこと」



❖ 講師 本校教諭 坂本 勝 先生  
 ❖ 期 日 12月6日(月) 14:40 ~ 15:40  
 ❖ 場 所 図書館



以前 IT 企業に勤めていた時の経験を基に、スライドなどを用いて分かりやすく、先生の体験談や、先生の思う「働く時に大切なこと」を講義していただきました。

これから社会に出て仕事をするためには、主体性(当事者意識)や論理的思考力がとても重要で、またそれがどうして必要なのかを丁寧に教えていただきました。仕事というものについて改めて考えるとても良い機会になりました。坂本先生、貴重なお時間を頂き、本当にありがとうございました。

## 受講した人の感想

・仕事は大人として個人的なものの印象だったけれど、部活動や学校で私たちが毎日行っているように周囲の人々と協力しないと成り立たないことを知りました。私たちがこれからの未来、社会に出ていくために備えなければならないこと、必要なことが分かったので、

今回の講義に参加してよかったなと思いました。

- ・仕事をしていくうえで論理的思考はとても重要であることがわかった。社会に出て働くことへの意識を改めて実感した。
- ・私は今日の講座を聞いて、主体性がとても重要だということがわかりました。また自由を得るために勉強するという言葉を聞いて、自分が自由に生きるために勉強をがんばりたいと思いました。
- ・自分一人のできる仕事はなく、たくさんの人の様々な力を合わせて仕事が達成できるというお話が心に残った。私は将来看護師になろうと思っているが、多職種と協力して患者さんにより良い医療を提供するというのが同じだと思った。



# 校内読書感想文コンクール

校内読書感想文コンクール(第67回青少年読書感想文全国コンクール校内選考)  
 ★最優秀賞 14H 廣澤 里奈

## 「自分らしさを大切に」

(「水を縫う」寺地はるな 集英社)

女性は、男性を守るべきだと思いますか。男性は、料理と裁縫が得意なはずだと思いますか。—このような質問をされて、そうですと答える人はほとんどいないでしょう。では、女性と男性の部分を入れ替えたなら—。そうです、という断定ではなくても、そうかもしれないと答える人はいるかもしれません。私たちの社会は、ごく最近まで男性の役割と女性の役割を分けてきたのですから。

私の両親の世代では、学校での家庭科の授業が男女別の教室で行われていたと聞きました。そして、その理由も今はわからないそうです。反対に、現在の家庭科の授業を男女一緒に受ける形が両親には新鮮だったそうです。私の祖父母の世代では、それ以上に男女の役割がはっきり分けられていたそうです。今よりも専業主婦が多く、家事や育児は女性がするものという認識があたりまえのようにされていたそうです。

この作品の文枝は、まさに私の祖父母の世代の女性です。彼女は、自分の父や夫に言われた言葉に傷つき、娘や孫には同じ思いをさせたくないと考えています。娘や孫に優しく寄りそいつつ、「人生を選ぶ権利がある」と少し突き放すところもあります。前向きで力強い女性だと思います。私は、この作品の中で「人生を選ぶ権利」という言葉に一番心を惹かれました。自分で選んだ人生ならば、たとえ苦しいことがあっても我慢強く立ち向かっていけるでしょうし、後悔することもないでしょう。私もこの先、あらゆる場面で人生を選ぶと思いますが、自分が納得した選択をしたいです。

また、この作品では、登場人物がみな、さまざまな悩みを抱えています。清澄は、手芸が大好きな高校生。友達も少なく、学校で浮いた存在になることを恐れています。それに対して水青は、かわいいものが苦手。二人の姉弟は、どこかちぐはぐしています。清澄は男らしさ、水青は女らしさ、そして二人の親である全は父親らしさ、さつ子は母親らしさが欠けているのではないかと悩んでいます。

しかし、こうした「~らしさは本当に必要なものなのですか。そもそも、「~らしさ」とは何なのですか。この言葉には、例えば男はこうあるべきだという意味が含まれていて、それは他人が決めた理想のように思います。そして、いつの間にか私たちはその理想に縛られているように思うのです。これでは息苦しくなってしまうのではないのでしょうか。

私は、「~らしさ」を求めるのではなく、自分らしく生きることを求めていくべきだと思います。それは、難しいことかもしれません。でも、好きなこと、得意なこと、幸せだと思うこと、価値観は人それぞれなのです。

清澄は、水青のウエディングドレスを作ることで、自分らしさを見つけました。二人の父である全も、父親というよりはデザイナーとしての自分を取り戻したかのように水青のウエディングドレスを製作します。

そして、この三人が自分らしさを見つけられたのには、認めてくれる人がいたことが大きいと思います。清澄には、友達の高多やくるみ。水青には、婚約者の紺野が温かく見守ってくれています。また、全をサポートする黒田の存在も大きいはず。こうした周りの全てではないけれど、特別な心の支えとなってくれる人が、自分を認め、自分を好きになれる力となるのではないのでしょうか。自分を好きになれると、もっと輝けるでしょうし、きっと幸せだろうと思います。ウエディングドレスが完成した時の達成感、その後の人生に大きな変化をもたらしてくれたのではないかと思います。

この作品を通して、自分らしさを大切にすることを学ぶことができました。でも、私の自分らしさは何だろうと考えましたが、はっきりとはわかりません。この作品のように、案外、私の周りの人たちが気づいてくれているのかもしれない。そのように考えると、周りの人たちとのつながりを大切にしたいと思いました。

## 校内読書感想文コンクール入賞者(R3)

### 1 学年

- 最優秀賞 14H 廣澤 里奈 「自分らしさを大切に」  
 (「水を縫う」寺地はるな:集英社)
- 優秀賞 14H 亀卦川佳凜 「8050 問題」  
 (「小説 8050」林真理子:新潮社)
- 佳作 12H 寺下 藍 「人生について」  
 (「死神の精度」伊坂幸太郎:文藝春秋社)

### 2 学年

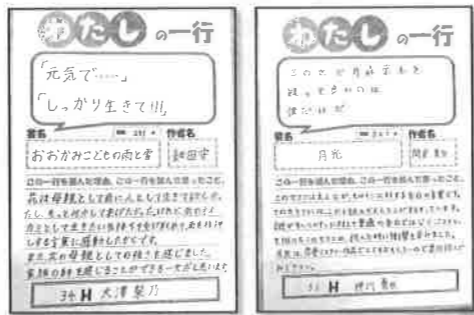
- 22H 田知本遥奈 「生きるということ」  
 (「君の癖をたべたい」住野よる:双葉社)
- 21H 石丸 未空 「幸せとは。」  
 (「ダ名言」浜ロン:主婦の友社)
- 23H 高畑 萌夏 「自分らしく、生きる。」  
 (「兄の名は、ジェシカ」ジョン・ポイン:あすなる書房)

\*審査の結果、第67回青少年読書感想文全国コンクール・富山県審査会の課題読書部門に14H 廣澤里奈さんの作品を、自由読書部門に14H 亀卦川佳凜さん・22H 田知本遥奈さんの作品を、出品しました。

# 図書委員会の活動

## TAKANAKI WEEK

9月21日(月)～9月28日(木)まで、校内文化発表会の「TAKANAKI WEEK」があり、図書委員会では、自分の好きな本を選んで紹介文を描く、POP作りをしました。また、自分が読んだ本の中で、一番心に残った一行をまとめる「わたしの一行」も作成しました。自分の好きな本の中から一冊だけを選ぶことや、それを見た人に、その本を読んでもらえるように考えて描くことがとても大変でした。そして、POPを校内の様々な場所に置く作業も行い、たくさんの人に見ていただけたと思います。これらのことをきっかけにして、少しでも多くの人々が本に興味を持ってくれたらうれしいです。



作業ですが、終わった後は達成感がとても大きかったです。

7月1日(月)から7月9日(金)まで図書館を休館にし、図書委員全員で蔵書点検を一週間かけて行いました。蔵書点検とは、全ての本にあるバーコードを一冊一冊バーコードリーダーで読み取り、蔵書一覧を参照して不明本があるかの確認をする作業です。約19,000冊ものたくさんの本をバーコードで読み取るので、とても時間がかかり、もうしたくないと思うような大変な作業ですが、終わった後は達成感がとても大きかったです。

## 蔵書点検



## ビブリオバトル

5月24日(月)にビブリオバトルを行いました。ビブリオバトルとは、一人ひとりがお勧めの本を紹介し、誰の紹介した本が、一番読みたくなったかを競うバトルです。皆お気に入りの本を持ってきて、生き生きと、自分のもってきた本を紹介していて、とても楽しそうでした。チャンプ本に選ばれた人のプレゼンは、本の魅力を最大限にひきだしていたすばらしいものでした。

カウンター作業は図書委員の常時業務であり、とても大切な仕事です。一見すると単純で簡単な仕事に思われますが、一つ一つの動作が重要で意外と大変です。最初の頃は、名簿から名前を探し出すのに手間取ることもありました。カウンター作業以外にも仕事があります。出版年が古いものや傷んだものなど図書館で不要になった本は除籍処理をします。この作業は図書館の蔵書構成を適切な状態に保つために欠かせない業務の一つです。どの作業も大変ですがとてもやりがいのある仕事です。

## カウンター作業



## 先生方のおすすめの本紹介

委員会の新しい企画として「先生方のおすすめの本紹介」を行いました。先生方に紹介文を書いてもらい、集まったものを生徒玄関近くの廊下に掲示しました。先生方の担当の教科に関する本や、好きな本を紹介していただき、楽しい企画になったと思います。ご協力してくださった先生方、ありがとうございました！



## 図書委員が選んだ各分野おすすめの本

0分野	1分野	2分野	3分野	4分野	5分野	6分野	7分野	8分野	9分野
<b>雑学の神様</b> 博学こだわり倶楽部 031ハ	<b>自分らしくいられるための</b> <b>50の小さな約束</b> 159ヒ	<b>戊辰戦争</b> 210.61ホ	<b>なぜ日本人は劣化したか</b> 304カ	<b>面白くて</b> <b>眠れなくなる天文</b> 440ア	<b>この顔と</b> <b>生きるということ</b> 598.4イ	<b>ペンギンが</b> <b>空を飛んだ日</b> 686.5シ	<b>マンガでわかる</b> <b>メンタルトレーニング</b> 780.1コ	<b>恥ずかしい和製英語</b> 834 ス	<b>よるのばけもの</b> 913.6 ス
みなさんが、友達との話題によく使う雑学をまとめた本です。よく使う雑学から、全く知られていない雑学まで様々なものが載っています。この世で一番役に立つ学問「雑学」の深いところまで調べてみてください。	みなさんが明るくいられるような言葉がたくさん載った本です！どうしてもネガティブになってしまうときにぴったり！空に向かってお礼を言ったり「他のことなんか気にするな！」などフツと笑えポジティブなことばがたくさんあります。	皆さんは戊辰戦争を知っていますか？この本は、戊辰戦争を軍事史的な観点から解明した本です。戊辰戦争がどこから始まり、どこで終わったのか、戊辰戦争を支えたヒト・モノ・カネの実態などが詳細に書かれています。	皆さん、武士道精神を知っていますか？武士道精神とは、過去に存在した武士という職業の精神を形容するものです。この本には、いまの日本人の多くがこの武士道精神に欠け、過去に比べると大きく変化してしまったということが書かれています。この本を読むと過去の日本人の姿が分かります。	惑星やブラックホール、宇宙や夜空などの天文学についての話がわかりやすく書いてある本です。私が特に面白かったところは月についての話です。月の地形や地名を知るとより夜空を眺めることが楽しくなりました。	この世の中には、いわゆる一般的な普通とは違う容姿に生まれた人がいます。外見に疾患のある子を持つジャーナリストの著者が、見た目の悩みを持つ人々に会って話を聞き、外見で判断されてしまう世の中での生きづらさを、どのように対処しているのかを伝えます。	たった二人だけのチームから始まったJR東日本のIC乗車券カード「Suica」。最初は誰からも期待されていなかったこのプロジェクトが、いかにして成功していったのか。Suica開発の歴史と現状がよくわかる1冊。	スポーツでもビジネスでも、その世界で一流と呼ばれている人には「精神的にタフなこと」という共通する特徴がある。では、どうすれば弱い精神面を鍛えることができるのか。数多くのトップアスリートと交流してきた著者が、誰にでもできる精神力のトレーニング法を伝授します。	皆さん、恥ずかしい和製英語を使ってしまうこと気付いていますか？これは外国人に誤解される間違った和製英語が載っていて、誤解に対する正しい解決方法を教えてくれる本です。イラストを使いわかりやすく説明してくれます。	この物語は、夜になると化物になってしまう主人公の安達が、クラスでいじめられている矢野と夜の学校で鉢合わせしてしまう場面から始まります。学校で起こるいじめがリアルに描かれていて、学校で集団生活を送る私たちがだからこそ読んでおくべき本だと思えます。

## 全校貸出ランキング

1位

5冊



逢う日、花咲く。  
青海野灰

2位

4冊



神様に一番近い動物：  
人生を変える7つの物語  
水野敬也

2位

4冊



青くて痛くて脆い  
住野よる

2位

4冊



十字架のカルテ  
知念実希人

2位

4冊



オルタネート  
加藤シゲアキ

学年クラス別  
貸出冊数1位



1学年	1組	176冊
2学年	1組	63冊
3学年	3組	66冊

## 令和3年度 図書委員会の1年間の活動

- 4月 新入生図書館オリエンテーション  
生徒図書委員会
- 5月 ビブリオバトル
- 7月 蔵書点検  
TAKANAKI WEEK「私の一行」「POP」作成  
開始
- 8月 県高校生徒図書委員研修会（富山いずみ高校）
- 10月 TAKANAKI WEEK「私の一行」「POP」展示
- 12月 第1回教養講座  
「一般企業で働いて考えたこと」  
図書委員会「ともしび」第51号編集委員会
- 1月 「ともしび」作成  
先生方のおすすめの本紹介
- 3月 「ともしび」51号発行

※毎月 図書だより発行 月毎の飾りつけ

※毎日 カウンター当番 書架整理

※各クラス HR 読書会・ミニビブリオバトルの準備・進行

## 令和3年度 図書委員会

（◎は委員長・○は副委員長）

11H	村下 実優	若林 ゆう
12H	萩野由香梨	齊藤 絢子
13H	田島 遼	須田 和樹
14H	堀田 美香	福島 愛生
21H	高松 梨月○後期	加藤 葵◎後期
22H	谷口 晨権	中村 洸介
23H	濱野 稀羽	北野 慧都
24H	釣谷 拓未	高松みのり
31H	押川 勇也	水上 愛深
32H	谷内 瑞希	木村 峻貴
33H	中村 時乃◎前期	大澤 璃桜
34H	大澤 梨乃○前期	大松 陽菜

## 編 集 後 記

この半年、委員長として、「先生方のおすすめの本紹介」を企画したり、掲示したり、教養講座の挨拶をしたりと、たくさん初めてのことに挑戦してきました。慣れない中、いろいろな方に協力してもらいながら計画を進めることができました。本当にありがとうございました。

委員としてもビブリオバトルや図書館だよりなどでたくさんのお本を紹介してきました。これらの活動を通して、自分の好みのお本を見つけたり、本に興味をもっていただけると幸いです。

後期図書委員長 加藤 葵